

～澄み渡る青空 丘を染める赤～ コキアまもなく紅葉見頃へ

国営ひたち海浜公園の「みはらしの丘」では、約3万3千本のコキアが10月12日より紅葉を始め、平年より2日、昨年より6日遅く、まもなく紅葉の見頃を迎えます。**見頃のピークは18日から24日頃まで**続き、28日までは赤と茶のグラデーションをお楽しみいただける見込みです。秋の澄み渡る青空と丘を赤く染めるコキアの紅葉が織りなす、色鮮やかなコントラスト。丘のふもとに咲くコスモスやソバの花と共に、唯一無二の赤の絶景をご覧ください。

みはらしの丘（まもなくコキア紅葉見頃） 撮影／2023年10月16日



◆美しい色合いの変化

コキアはヒユ科ホウキギ属で、ユーラシア大陸の乾燥地帯原産の一年草。和名の「ほうき草」は、かつて枝や茎を乾燥させて、ほうきを作っていたことに由来します。コキアの実が「とんぶり」となる食用の品種は、草丈が高く紅葉しませんが、みはらしの丘に植栽している観賞用の品種「ルージュ」は、丸々とした草姿に成長し、季節の移ろいとともにより緑から赤、黄金色へと色合いが変化していくのが魅力です。

【コキア】 ■品種数:1品種(ルージュ) ■本数:約3万3千本 ■場所:みはらしの丘 ■植栽面積:約1.9ha

◆日本に返還され50年

国営ひたち海浜公園のある場所は、かつて日本軍水戸東飛行場があり、終戦後は米軍により射爆撃場として使われていました。昭和48年3月に日本に返還された後、「平和の象徴として公園を整備したい」という地元の強い思いにより、平成3年10月5日に「国営ひたち海浜公園」が誕生し、今年32周年を迎えました。みはらしの丘は、米軍射爆撃場時に標的があった場所に、大型トラック20万台分(約100万㎡)の建設発生残土で造成された人口の丘で、高さは30m、標高が58mとなり、ひたちなか市の最高地点となります。

◆赤の絶景 コキアの誕生

みはらしの丘へ植栽する植物としてコキアが選定されたのは、当時の植物管理担当者が「紅葉する木々が少ない園内で、季節の移ろいを感じてほしい」と考案したことが始まりです。夏の緑から秋の赤への移ろいが美しく、ふわふわとした形が可愛らしいコキアは、2年間の試験植栽を経て2007年より正式に導入されました。無数の弾薬や銃弾が撃ち込まれた標的の跡地は、「春の青、夏の緑、秋の赤」を主役に様々な花が咲き誇る、千紫万紅の丘へと生まれ変わりました。



紅葉見頃ピーク時の丘(2022年10月14日撮影)



射爆撃場での演習風景



ソバ・コスモス・コキア(2020年10月18日撮影)

Information

みはらしの丘のふもとでは、ソバが見頃、コスモスが3分咲きとなっています。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 田中・渡邊・田野
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

<https://hitachikaihin.jp>